

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（1月定例会）
開催日時	平成30年1月29日（月）13時00分から16時00分まで
開催場所	保谷庁舎4階 理事者室
出席者	委員：内田議長、木下副議長、川原委員、攝賀委員、長谷川委員、 服部委員、原委員、原田委員、矢野（真）委員 事務局：岡本課長、神田係長、奥住主事 傍聴：3名
議題	(1) 放課後子供教室事業について (2) 社会教育関係団体補助金について (3) その他
配布資料	資料1 (仮称)放課後子供教室事業の今後のあり方について(提言)案文 資料2 社会教育関係団体補助金資料 資料3 平成28年度公民館事業評価 資料4 平成28年度図書館事業評価
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

●平成29年12月の定例会議の会議録について1か所訂正の後、承認する。

(1) 放課後子供教室事業について

●事務局より起草委員会について報告。今後の流れについて説明。

- 議長：全体の方向性として、提言の柱立てや盛り込む内容等を確認いただきたい。意見等はあるか。
- 委員：4ページ「3」のタイトルを「今後取り組むべき施策の方向性」としてはどうか。
- 委員：学校施設開放運営協議会（以下「運協」）の運営体制を柱立てに追加しても良いと思う。
- 委員：3ページ「2現状と課題」中、2段落目「今回」と「当面の課題として」という記述は削除で良いと思う。
- 委員：1ページ「はじめに」で、本提言をするに至った経緯として、過去の関連する提言について書いてはどうか。
- 委員：3ページ「(2) これまでの放課後子供教室の取り組み」中の最終段落「運協の機能を拡大する」という記述は「多くの課題がある」とした方が良いと思う。
- 委員：「従事者のための研修会が必要」という記述をどこに盛り込むのが適切か考えたい。また、「～という意見もあった」等、具体例も示せたら良いと思う。

- 委員：第2部会の報告書で、全体の現状と課題についての記述があるので、そこをうまく活かしたら良いと思う。
- 委員：全体の構成としては「放課後子供教室事業についての①国の方向性等、②西東京市での取組、③現状・課題・今後について」と考えてよろしいか。
- 委員：国の方向性等について多く書いてしまうと、要点が分からなくなる恐れがあるので、あくまで西東京市としてどうなのかに沿って書くよう注意したい。
- 委員：「この提言は各運協へのヒアリングに基づいて検討されている」という記述が必要だと思う。
- 議長：本日の会議で出された意見も含め、再度起草委員会にて検討を進めることとする。

(2) 社会教育関係団体補助金について

●事務局より、資料2に基づいて説明。

- 議長：近年、この補助金については、周知はしているものの、申請団体数が減っている。一方、市民が企画する事業への他制度の充実など、制度を始めた頃とは状況が変わってきている。これまでも定例会で何度か取り上げており、金銭的支援ではなく他の手法での支援を考えられないか等意見が出ている。これらを踏まえ、この事業について再度意見を願う。
- 委員：任意団体が社会教育事業を実施するに当たって、公民館市民企画事業やNPO企画提案事業（協働コミュニティ課）は利用することができるのか。
- 事務局：事業内容等によっては利用することが可能である。
- 委員：申請を考えていた団体が、他の支援を利用できない可能性があるということが懸念される。
- 委員：補助金はいくまで補助であり、補助金に依存する事業運営ではないはず。この補助金が無いと事業が成り立たないということは起こらないはずである。
- 委員：ゆめこらぼの講座などを参考に、金銭ではない手法での団体支援も考えられるのではないか。
- 議長：これまでの意見を踏まえ、本補助金は廃止の方向ということでよろしいか。
- 全委員：（異議なし）
- 議長：今後の社会教育関係団体への支援の方向性や手法については、別途検討していきたい。

(3) その他

※平成29年度社会教育委員研修会について

- ・日時…平成30年3月19日（月）午後2時から
- ・会場…保谷庁舎4階 研修室

※3館合築について

- 事務局より12月の定例会議にて報告し、意見をいただいた資料に図面等を付して改めて配布し、説明。
- 議長：事務局より説明があった。ご意見を伺いたい。
- 委員：耐震にこれだけの費用を費やして、数年使用期間を延ばし、現状と殆ど変わらないということは、残念に思う。
- 委員：耐震改修をすることで、鉄筋のすじかいなどが入り、現在よりも使用できる面積が

減ることも考えられる。使い勝手が悪くなるようなことは避けてもらいたい。

○委員：できれば、改修後に、市民が「ああ、変わったな」と感じられるものにしてもらいたい。

○委員：大きく改善される館が実現するのは、まだまだ先の話であるなど感じる。

○委員：20万人都市の公共施設としてのあり方を考えてもらいたい。

○委員：今後、耐震改修の費用が圧縮できるなら、それをを用いて全体の中で、公民館、図書館の事業の充実を図ってもらいたい。良いものにできたらという思いがある。

○事務局：具体的な内容については、今後検討及び設計されるものである。

○議長：それでは以上で本日の社会教育委員の会議（1月定例会）は終了する。

※次回会議 平成30年2月19日（月）午後2時から